

【記事欄】

差し支えなければ、飼養頭数の増減理由等について、ご記入願います。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

(裏)

秘

農林水産省

総務省承認 No. 27075

承認期限 平成20年2月29日まで

(表)

畜産統計調査 乳用牛調査票

(平成20年2月1日現在)

＜畜産統計調査とは＞

主要家畜の飼養戸数・頭羽数及びその規模別分布を把握し、我が国の畜産業の現況を明らかにするとともに、畜産行政の基礎資料を提供することを目的として実施しています。

＜調査結果の秘密の保護＞

この調査で得られる調査結果は、統計を作成するためだけに使われ、課税等の資料に用いることは、法律で固く禁じられており、調査結果を他に漏らしたりすることはありませんので、是非ありのままお答えいただくようお願いいたします。

(この項目は農林水産省の職員が記入します。)

階層区分	1	2
------	---	---

この調査票の記入に当たって疑問点や質問がありましたら下記まで御連絡ください。

農政局 農政事務所 センター
電話番号
担当者名

入力方向

【職員記入欄】（この項目は農林水産省の職員が記入します。）

調査年	局・農政事務所	センター	市区町村	整理番号	抽出階層
基本指標番号					

4 6 1 1

以下の4、5の項目については、表紙の階層区分が「1」の場合のみ記入してください。

(母)

《記入上の注意》

- 記入は、黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
- 数字は、枠からはみ出さないように記入見本を参考に記入してください。
- で囲まれた項目が集計の対象となりますので、必ず記入してください。それ以外の項目については、記入されなくても構いません。

記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

1 状態別飼養頭数

・2月1日現在で飼っている乳用牛(めす)の頭数を記入してください。

単位：頭

合計 (1)+(4)	経産牛			未經産牛 (4)	うち、2歳未満 (未經産牛) (5)
	計 (2)+(3) (1)	搾乳牛 (2)	乾乳牛 (3)		

「乾乳牛」には、乳廃牛を肉用に肥育中の牛も含めます。

2 月別経産牛頭数（初産牛を含みます）

・過去1年間について、各月1日現在の経産牛の頭数を記入してください。

単位：頭

	19年3月 (6)	4月 (7)	5月 (8)	6月 (9)	7月 (10)	8月 (11)	9月 (12)	10月 (13)	11月 (14)	12月 (15)	20年1月 (16)	2月 (17)
経産牛頭数												

「1 状態別飼養頭数」の「経産牛計」の欄は、「2 月別経産牛頭数（初産牛を含みます）」の「2月」の欄と一致します。

3 月別分べん頭数及び乳用向けめすの出生頭数

・過去1年間に分べんのあった牛（初産牛を含みます）について、各月ごとに頭数を記入してください。

単位：頭

	19年2月 (18)	3月 (19)	4月 (20)	5月 (21)	6月 (22)	7月 (23)	8月 (24)	9月 (25)	10月 (26)	11月 (27)	12月 (28)	20年1月 (29)
分べん頭数												

・過去1年間に生きて産まれてきためすの子牛のうち、乳用向けとする予定のめす牛について、各月ごとに頭数を記入してください。

単位：頭

	19年2月 (30)	3月 (31)	4月 (32)	5月 (33)	6月 (34)	7月 (35)	8月 (36)	9月 (37)	10月 (38)	11月 (39)	12月 (40)	20年1月 (41)
めすの出生頭数												
うち、乳用向け												

4 経営耕地・飼料作物の作付実面積状況

・過去1年間について、経営耕地面積及び飼料作物の作付実面積を記入してください。

単位：a

経営耕地面積 (42)	飼料作物の作付実面積				
	計 (44)+(46) (43)	田 (44)	うち、借入地 (45)	畑 (牧草専用を含む) (46)	うち、借入地 (47)

5 放牧の状況

・過去1年間に放牧した頭数について記入してください。

単位：頭

放牧頭数 (48)	うち、成牛 (49)

【記事欄】

差し支えなければ、飼養頭数の増減理由等について、ご記入願います。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

(裏)



農林水産省

総務省承認 No. 27076

承認期限 平成20年2月29日まで

(表)

畜産統計調査 肉用牛調査票

(平成20年2月1日現在)

<畜産統計調査とは>

主要家畜の飼養戸数・頭羽数及びその規模別分布を把握し、我が国の畜産業の現況を明らかにするとともに、畜産行政の基礎資料を提供することを目的として実施しています。

<調査結果の秘密の保護>

この調査で得られる調査結果は、統計を作成するためだけに使われ、課税等の資料に用いることは、法律で固く禁じられており、調査結果を他に漏らしたりすることはありませんので、是非ありのままお答えいただくようお願いいたします。

(この項目は農林水産省の職員が記入します。)

階層区分	1	2
------	---	---

この調査票の記入に当たって疑問点や質問がありましたら下記まで御連絡ください。

農政局 農政事務所 センター
電話番号
担当者名

入力方向

【職員記入欄】（この項目は農林水産省の職員が記入します。）

調査年	局・農政事務所	センター	市区町村	整理番号	抽出階層
4	6	2	1		

基本指標番号

以下の2～4の項目については、表紙の階層区分が「1」の場合のみ記入してください。

(母)

《記入上の注意》

- 記入は、黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
- 数字は、枠からはみ出さないように記入見本を参考に記入してください。
- で囲まれた項目が集計の対象となりますので、必ず記入してください。それ以外の項目については、記入されなくても構いません。

記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

1 目的別飼養頭数

- ・2月1日現在で飼っている肉用牛の頭数を記入してください。

単位：頭

合計 (1)+(4)+(5)	肉用種			乳用種 (4)	交雑種 (5)
	計 (1)	うち、肥育用牛 (2)	うち、育成牛 (3)		
おす					
めす					
うち、子とり用	①				
1歳未満 (~11か月)	②				
1歳 (12~23か月)	③				
2歳 (24~35か月)	④				
3歳以上 (36か月~)	⑤				

肉用種のめす牛のうち、「子とり用」については、年齢別に頭数を記入してください。

2 経営タイプ

- ・2月1日現在の該当する経営タイプの番号を一つ選択し、点線に沿って○で囲んでください。

肉用種経営				乳用種経営		
子取り	肥育	その他	うち、一貫	育成	肥育	一貫
(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

3 経営耕地・飼料作物の作付実面積状況

- ・過去1年間について、経営耕地面積及び飼料作物の作付実面積を記入してください。

単位：a

経営耕地面積 (18)	飼料作物の作付実面積				
	計 (20)+(22) (19)	田 (20)	うち、借入地 (21)	畑 (牧草専用を含む) (22)	うち、借入地 (23)

4 放牧の状況

- ・過去1年間に放牧した頭数について記入してください。

単位：頭

放牧頭数 (24)	うち、成牛 (25)

<<肉用種>>

肉用種は、和生及び外国系統牛の肉専用種を肉牛として販売する目的で飼養している牛（種おす、子取り用のめす牛を含む）のことをいい、肉用種とうしの交雑や、肉用種の受精卵を、乳用種や交雑種のめす牛に移植する技術（ET）により出生した牛についても、肉用種に含めます。

- 肥育用牛
肉牛として販売する目的で飼養する牛をいう。ほ乳・育成期間の牛であっても、引き続き自家で肥育する予定の牛は肥育用牛とします。
- 育成牛
もと牛（生後8～10か月）として出荷する予定の牛をいいます。

<<乳用種>>

乳用種は、ホルスタイン種、ジャージー種などの乳用種のうち、肉用を目的に飼養している牛のことをいいます。

このため、乳用種のめす牛については、未經産の牛のめす牛のみとし、搾乳目的として飼養された牛はここには含みません。（「乳用牛」として扱われます）

<<交雑種>>

交雑種は、乳用種のめすに肉用種のおすを交配して生産された、いわゆる「F1牛」のことをいいます。

なお、「F1牛」のめすに肉用種のおすを交配して生産された、いわゆる「F1クロス牛」についても、交雑種に含めます。

<<経営タイプ>>

肉用種経営

- 子取り
子牛の生産を目的とする経営をいいます。
- 肥育
もと牛（8～10か月齢程度の牛）を肉用に肥育し、出荷まで飼養する経営をいいます。なお、種おすのみの飼養はここに含めます。
- その他
子牛の育成経営など、子取り、肥育以外の経営をいいます。
- 一貫
子牛の生産から育成・肥育までを行う経営をいいます。

乳用種経営

- 育成
生後1～2週間程度の牛を導入し(出生子牛を含む)、6～7か月程度まで飼養する経営をいいます。
- 肥育
生後6～7か月齢程度の牛を導入し、肉向けの出荷時期まで飼養する経営をいいます。
- 一貫
生後1～2週間程度のものを導入し(出生子牛を含む)肉向けの出荷時期まで飼養する経営をいいます。

【記事欄】

差し支えなければ、飼養頭数の増減理由等について、ご記入願います。

Large empty box for notes with horizontal lines.

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

(裏)

←←← 入力方向

記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

(表)

Header section: 農林水産省 畜産統計調査 豚調査票 (平成20年2月1日現在)

【職員記入欄】 (この項目は農林水産省の職員が記入します。)

職員記入欄: 調査年, 局・農政事務所, センター, 市区町村, 整理番号, 抽出階層 (4631)

《記入上の注意》
○ 記入は、黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
○ 数字は、枠からはみ出さないように記入見本を参考に記入してください。
○ [] で囲まれた項目が集計の対象となりますので、必ず記入してください。それ以外の項目については、記入されなくても構いません。

1 飼養頭数

- 2月1日現在で飼っている頭数を記入してください。

Table for pig raising headcount with columns for 100,000, 10,000, 1,000, 100, 10, and 1 head.

以下の「2 経営タイプ」及び「3 経営組織」の項目については、学校、畜産試験場等の非営利飼養者の方は記入不要です。

2 経営タイプ

- 該当する経営タイプの番号を一つ選択し、点線に沿って○で囲んでください。

Table for business type: 子取り経営, 肥育経営, 一貫経営 with selection circles.

3 経営組織

- 該当する経営組織の番号を一つ選択し、点線に沿って○で囲んでください。

Table for business organization: 耕作農家, 非耕作農家, 会社, その他 with selection circles.

この調査票の記入に当たって疑問点や質問がありましたら、下記まで御連絡ください。

Contact information: 農政局 農政事務所 センター 電話番号 担当者名

【記事欄】

差し支えなければ、飼養羽数の増減理由等について、ご記入願います。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

(裏)

←←← 入力方向

記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

(表)

農林水産省 総務省承認 No. 27078 承認期限 平成20年2月29日まで	畜産統計調査 採卵鶏調査票 (平成20年2月1日現在)
秘	

【職員記入欄】 (この項目は農林水産省の職員が記入します。)

調査年	局・農政事務所	センター	市区町村	整理番号	抽出階層	4 6 4 1
基本指標番号	:	:	:	:	:	:

《記入上の注意》

- 記入は、黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
- 数字は、枠からはみ出さないように記入見本を参考に記入してください。
- で囲まれた項目が集計の対象となりますので、必ず記入してください。それ以外の項目については、記入されなくても構いません。

1 飼養羽数

- ・ 2月1日現在で飼っている羽数を記入してください。

		百万 十万 万 千 百 十 羽							
採卵鶏	成鶏めす (6か月以上)	①	:	:	:	:	:	0	0
	ひな (6か月未満)	②	:	:	:	:	:	0	0
	小計 (①+②)	③	:	:	:	:	:	0	0
	採卵鶏の種鶏 (おす、ひなを含む)	④	:	:	:	:	:	0	0
合計 (③+④)		⑤	:	:	:	:	:	0	0

以下の「2 経営組織」及び「3 ひなの導入」の項目については、学校、畜産試験場等の非営利飼養者の方は記入不要です。

この調査票の記入に当たって疑問点や質問がありましたら、下記まで御連絡ください。

農政局 農政事務所 センター

電話番号 _____

担当者名 _____

2 経営組織

- ・ 該当する経営組織の番号を一つ選択し、点線に沿って○で囲んでください。

経営組織			
農家	会社	その他	
番号	①	②	③

3 ひなの導入

- ・ 過去1年間のひなの導入状況について、該当する番号を一つ選択し、点線に沿って○で囲んでください。

導入あり			導入なし
初生ひな	大・中ひな	初生ひな 大・中ひな	
番号	①	②	③
			④

ひなの導入がある場合は、過去1年間の導入羽数を記入してください。

		百万 十万 万 千 百 十 羽						
初生ひな	⑥	:	:	:	:	:	0	0
大・中ひな	⑦	:	:	:	:	:	0	0

(表)



農林水産省

総務省承認 No. 27079
承認期限 平成21年1月31日まで

畜産統計調査

鶏ひなふ化羽数調査票

(平成20年 月分調査)

<畜産統計調査とは>

主要家畜の飼養戸数・頭羽数及びその規模別分布を把握し、我が国の畜産業の現況を明らかにするとともに、畜産行政の基礎資料を提供することを目的として実施しています。

<調査結果の秘密の保護>

この調査で得られる調査結果は、統計を作成するためだけに使われ、課税等の資料に用いることは、法律で固く禁じられており、調査結果を他に漏らしたりすることはありませんので、是非ありのままお答えいただくようお願いいたします。

【職員記入欄】(この項目は農林水産省の職員が記入します。)

整理番号	局・農政事務所	センター	ふ化場 通し番号

この調査票の記入に当たって疑問点や質問がありましたら下記まで御連絡ください。

農政局 農政事務所 センター
電話番号
担当者名

(裏)

【記事欄】

差し支えなければ、ふ化及び出荷羽数の増減理由等について、ご記入願います。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

(中)

1 ふ化羽数及び出荷羽数を記入してください

単位：羽

	ふ化羽数	初 生 び な の 出 荷 羽 数																							
		計 (3)+(4)	国 外	国 内																					
				計 (5)+(6)	県 内					県 外															
					計	千	百	十	一	計	千	百	十	一	計	千	百	十	一						
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)																				
合 計	①	百万		十	万	千	百	十	一	百万		十	万	千	百	十	一	百万		十	万	千	百	十	一
採 卵 用 (鑑別めす)	②	A																							
ブ ロ イ ラ ー 用	③	B																							
計 (4)+(5)+(6)+(7)	④																								
鑑 別 め す	⑤																								
鑑 別 お す	⑥																								
無 鑑 別	⑦																								
そ の 他	⑧																								
種 採 卵 用	⑨																								
種 ブロイラー用	⑩																								

「初生びなの出荷羽数」の計のうちA欄及びB欄は「2 初生びなの出荷先別出荷羽数」の計のA欄及びB欄と一致します。

「ブロイラー用のその他」には、採卵用鑑別めす、種鶏めす等でブロイラー用に出荷されたもののみを記入し、飼料用等はいれなくてください。

「初生びなの出荷羽数」は、そのひなのふ化した月をもって出荷した月として記入してください。したがって、月末にふ化し翌月に出荷された場合はふ化月の出荷にしてください。
また、お宅のふ化場で当月ふ化した初生びなのうち自家の育すう場でえ付けされ、大・中びなとして県外へ出荷することが予定されている場合でも、ふ化した当月の初生びなの県内出荷として記入してください。

2 初生びなの出荷先別出荷羽数（種鶏を除く）を記入してください。

単位：羽

計	採卵用(鑑別めす)					ブロイラー用									
	(7)					(8)									
	百万	十	万	千	百	十	一	百万	十	万	千	百	十	一	
国 外															
国 内															
北 海 道															
青 森															
岩 手															
宮 城															
秋 田															
山 形															
福 島															
茨 城															
栃 木															
群 馬															
埼 玉															
千 葉															
東 京															
神 奈 川															
新 潟															
富 山															
						石 川									
						福 井									
						山 梨									
						長 野									
						静 岡									
						岐 阜									
						愛 知									
						三 重									
						滋 賀									
						京 都									
						大 阪									
						兵 庫									
						奈 良									
						和 歌 山									
						鳥 取									
						島 根									
											岡 山				
											広 島				
											山 口				
											徳 島				
											香 川				
											愛 媛				
											高 知				
											福 岡				
											佐 賀				
											長 崎				
											熊 本				
											大 分				
											宮 崎				
											鹿 児 島				
											沖 縄				